

2019年3月期 決算説明会

第2四半期

2018年11月12日

【ウェブサイト・リニューアル】



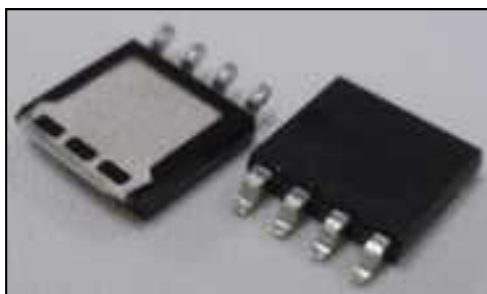
【メツツアビレッジへ充電器寄贈】^{*}



* 埼玉県飯能市にオープンした
北欧を題材にしたテーマパーク
<https://metsa-hanno.com/>



【車載MOSFET LFパッケージ量産開始】



縦 5 mm x 横 6 mmサイズとしては
業界最大の140 Aまで対応可能

【新型EV急速充電器 開発完了、下期より量産開始】



業界初、大出力モデル

上期連結業績

単位：億円（億円未満四捨五入）

	2018年3月期 第2四半期 実績	2019年3月期 第2四半期 (計画値)	2019年3月期 第2四半期 実績	前年同期比 (%)	期初計画比 (%)
売上高	441	470	466	5.7	▲0.9
営業利益	41	29	29	▲28.4	1.5
経常利益	44	32	32	▲26.8	▲0.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	36	24	23	▲34.6	▲3.1
営業利益率	9.3%	6.2%	6.3%	—	—
ROE	12.9%	8.0%	7.9%	—	—

◆デバイス事業・電装事業が、好調に推移。

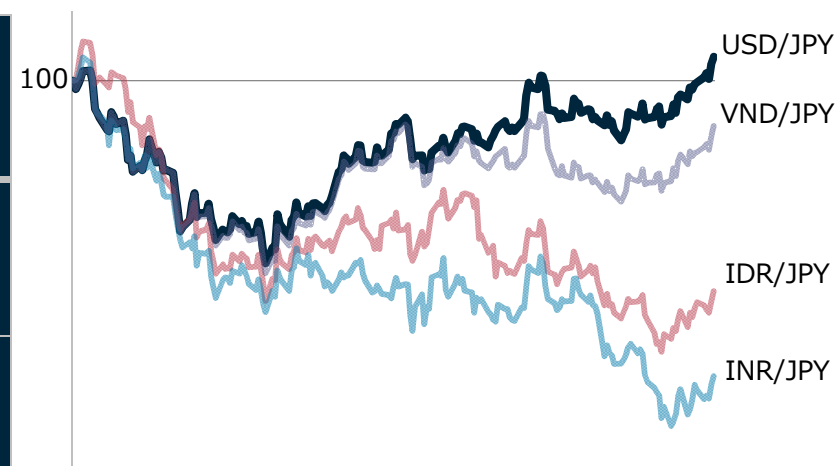
◆前年同期比では、費用増加や為替変動などの影響により減益。

上期連結業績

単位：億円（億円未満四捨五入）

	2018年3月期 第2四半期 実績	2019年3月期 第2四半期 (計画値)	2019年3月期 第2四半期 実績
設備投資	22	43	30
減価償却費	21	27	23
研究開発費	26	29	27

	2018年3月期 第2四半期 実績	2019年3月期 第2四半期 (計画値)	2019年3月期 第2四半期 実績
換算為替 レート (\$)	112.75	110.00	109.17
平均為替 レート (\$)	111.19	110.00	108.47



◆ 期初計画比では、為替相場の変動分を減価償却費等の減少により、概ね相殺。

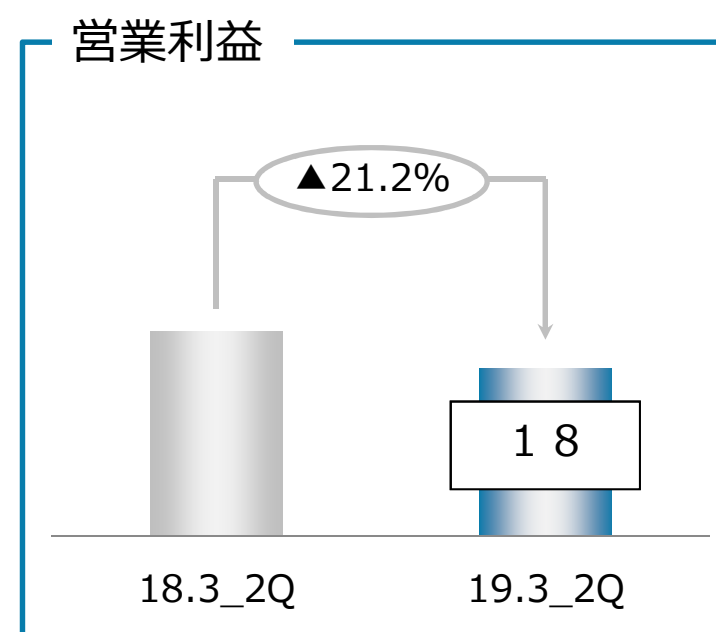
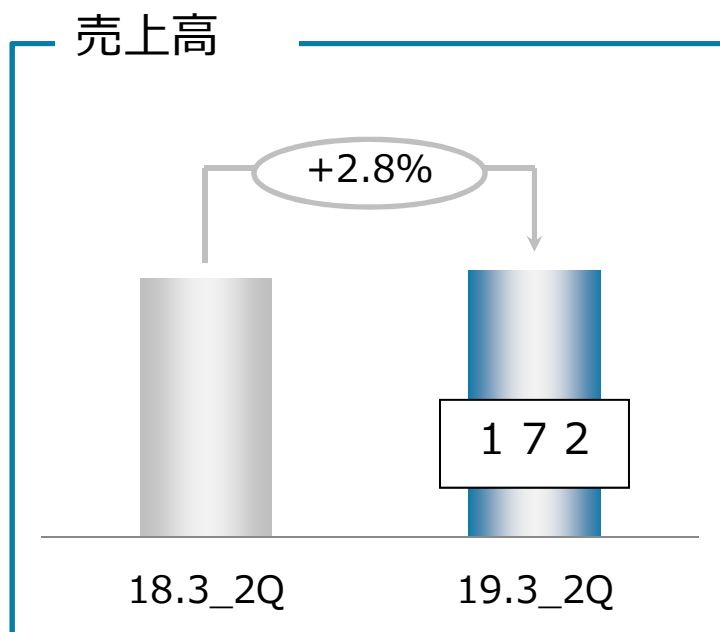
上期連結業績（セグメント別）

デバイス事業

topics

- ✓ 白物家電・車載向けが好調に推移し増収。
- ✓ 産業機器向けでは、製造業の設備投資に慎重な動き。期後半で伸び悩む。
- ✓ 新規開発や設備投資に伴う費用、原材料費高騰などの影響により減益。

単位：億円（億円未満四捨五入）



* セグメント間の取引については、相殺消去して記載してあります。

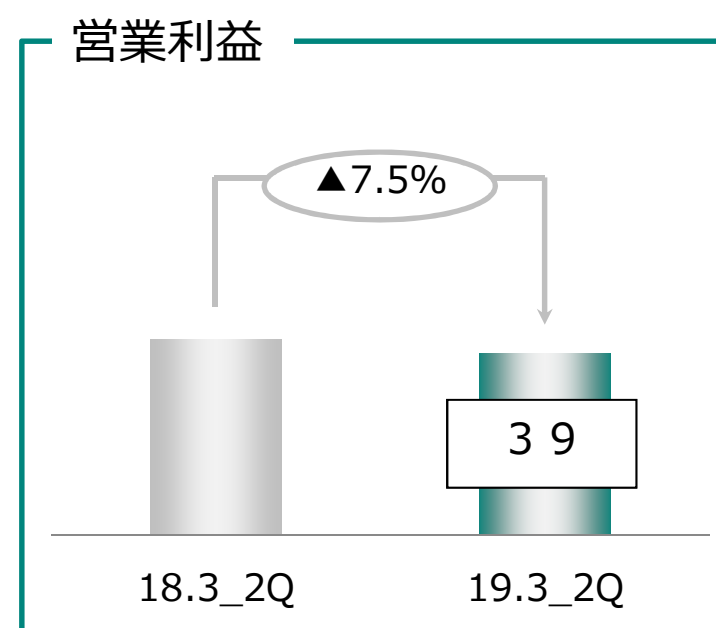
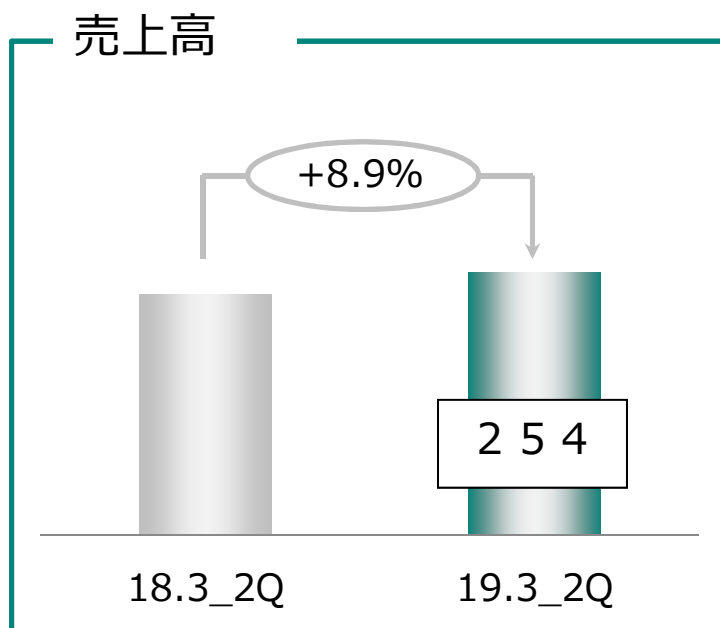
上期連結業績（セグメント別）

電装事業

topics

- ✓主力のアジア二輪車市場が、好調に推移し増収。
- ✓インド、市場拡大や新規製品投入により大きく伸長。
- ✓アジア通貨安や製品構成などの影響により減益。

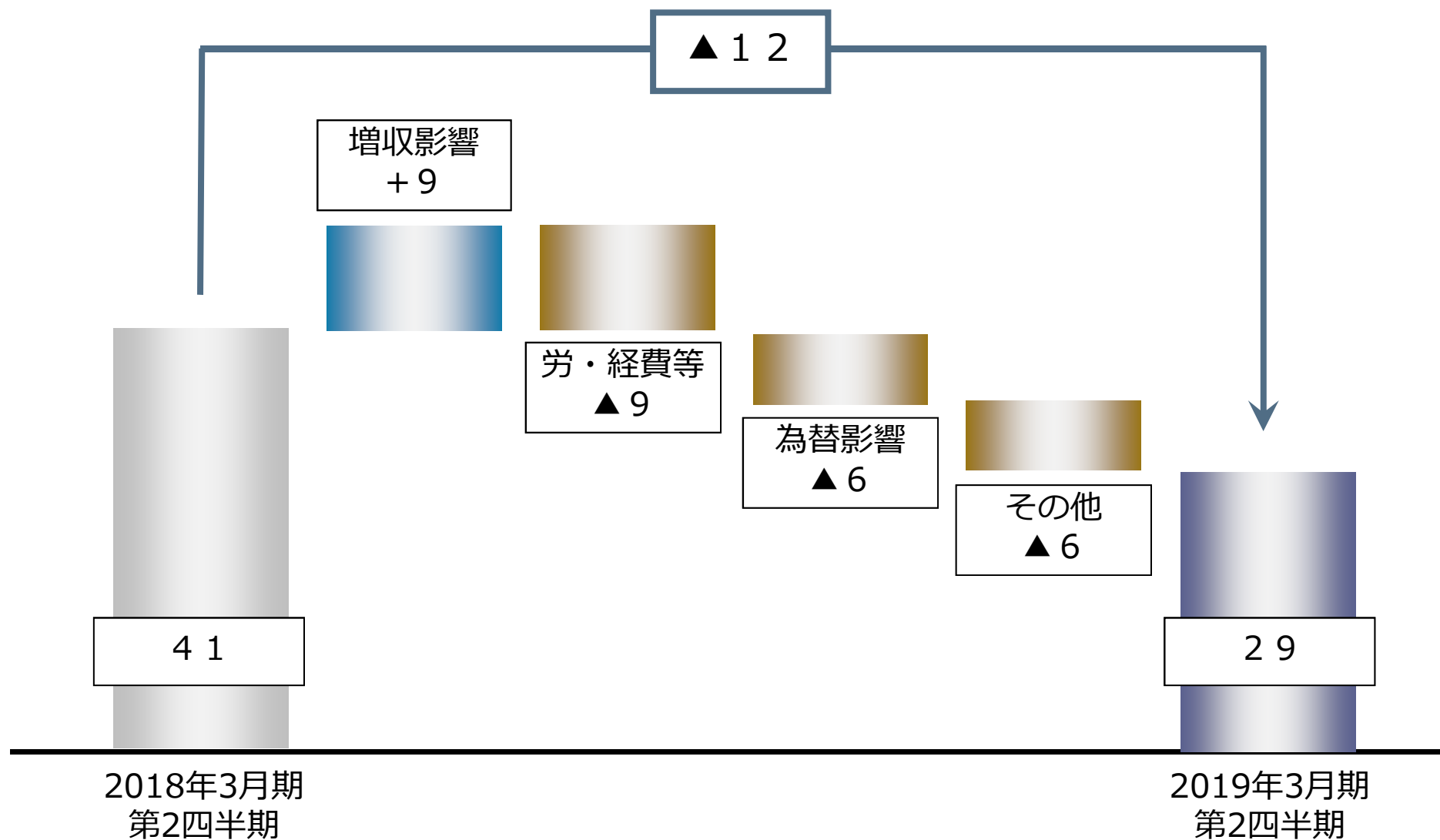
単位：億円（億円未満四捨五入）



* セグメント間の取引については、相殺消去して記載してあります。

営業利益の増減（前年同期比）

単位：億円（億円未満四捨五入）



経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

単位：百万円（百万円未満切り捨て）

	2018年3月期 第2四半期 実績	2019年3月期 第2四半期 実績	増減
営業利益	4,113	2,944	▲1,169
営業外収益	551	625	+73
営業外費用	309	381	+71
経常利益	4,355	3,188	▲1,167
特別利益	0	0	0
特別損失	0	164	+164
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,553	2,324	▲1,228

- ◆ 為替差損 9 0 百万円増加
- ◆ 金融収支 7 5 百万円改善

連結貸借対照表

単位：億円（億円未満四捨五入）

	2018年3月期	2019年3月期 第2四半期	増減率 (%)
流動資産	845	818	▲3.1
固定資産	492	501	1.8
資産 合計	1,337	1,320	▲1.3
流動負債	313	304	▲2.8
固定負債	432	429	▲0.8
負債 合計	745	733	▲1.6
株主資本	585	596	1.8
その他の 包括利益累計額	6	▲9	—
純資産 合計	592	586	▲0.9
総資産	1,337	1,320	▲1.3
自己資本比率	44.3%	44.4%	—

通期連結業績（予想）

単位：億円（億円未満四捨五入）

	2018年3月期 実績	2019年3月期		前期比 (%)
		上期実績	通期予想	
売上高	922	466	967	4.9
営業利益	69	29	58	▲15.4
経常利益	72	32	63	▲12.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	53	23	48	▲9.3
営業利益率	7.4%	6.3%	6.0%	—
ROE	9.4%	7.9%	8.0%	—

◆ 上期実績、概ね計画通りの着地。通期でも期初計画通りの着地を見込む。

通期連結業績（予想）

		2019年3月期 期初予想値	2019年3月期 予想値 (11月時点)	増減額 (期初予想比)
売上高	デバイス	363	349	▲14
	電装	500	521	21
	その他	104	97	▲7
	合計	967	967	—

		2019年3月期 期初予想値	2019年3月期 予想値 (11月時点)	増減額 (期初予想比)
営業利益	デバイス	45	32	▲13
	電装	60	74	14
	その他	1	▲2	▲3
	調整額	▲48	▲46	2
	合計	58	58	—

◆期初計画は据え置く一方、セグメント別の見通しを修正。

通期連結業績（予想）

単位：億円（億円未満四捨五入）

	2018年3月期 実績	2019年3月期 (期初計画)	2019年3月期	
			上期実績	通期予想
設備投資	61	84	30	74
減価償却費	45	62	23	56
研究開発費	55	58	27	54

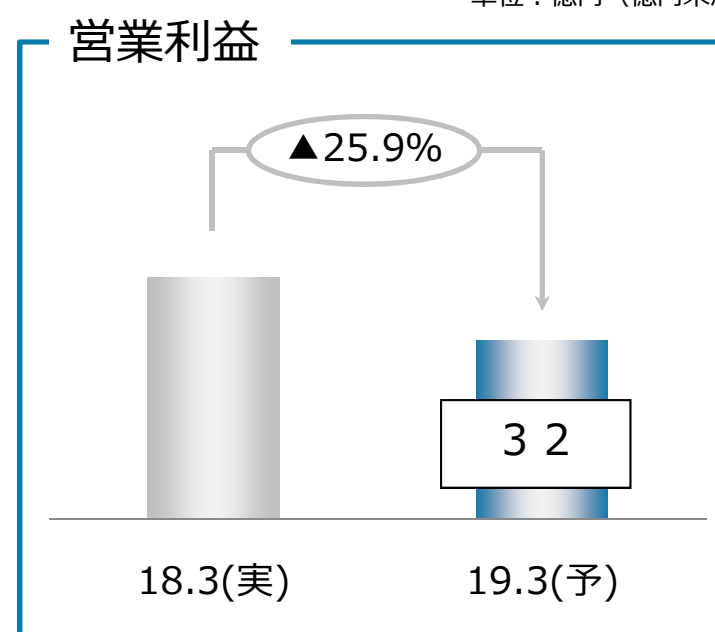
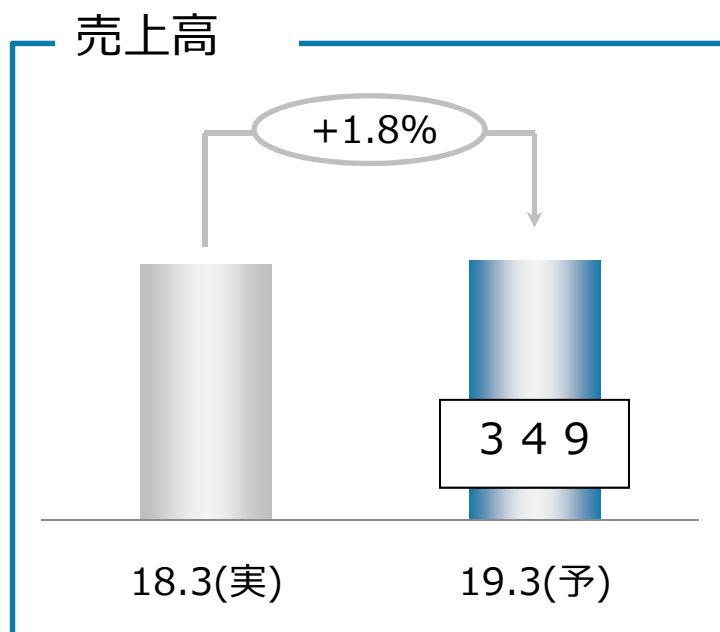
- ◆設備投資は、海外拠点の能力増強、国内拠点の合理化投資を中心に、前年比増。
調達コスト削減や、来期への延伸などにより、期初計画比ではマイナス。
- ◆減価償却費は、設備投資の進捗状況に併せて変動。

デバイス事業

見通しと取組

- ✓ 白物家電・車載向けが好調を維持、産機市場では先行きの不透明感が拡大。
- ✓ 減価償却費の増加、原材料費高騰などの影響により減益。
- ✓ 設備投資、下期も高水準で実施。

単位：億円（億円未満四捨五入）



* セグメント間の取引については、相殺消去して記載してあります。

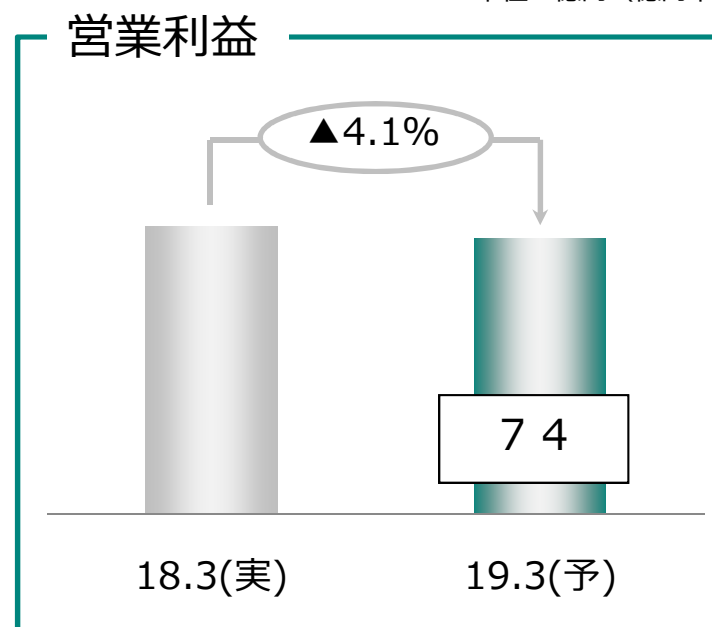
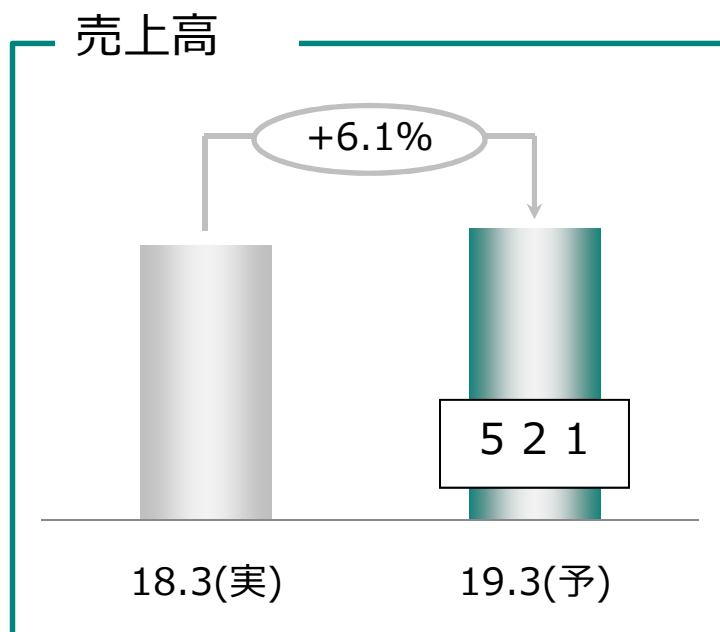
通期連結業績（セグメント別予想）

電装事業

見通しと取組

- ✓ インドネシア、ベトナムの好調維持により、通期見通しは上振れ。
- ✓ 四輪向けも好調を維持。
- ✓ インド市場の拡大に伴う工場増築は、概ね計画通りの進捗。

単位：億円（億円未満四捨五入）



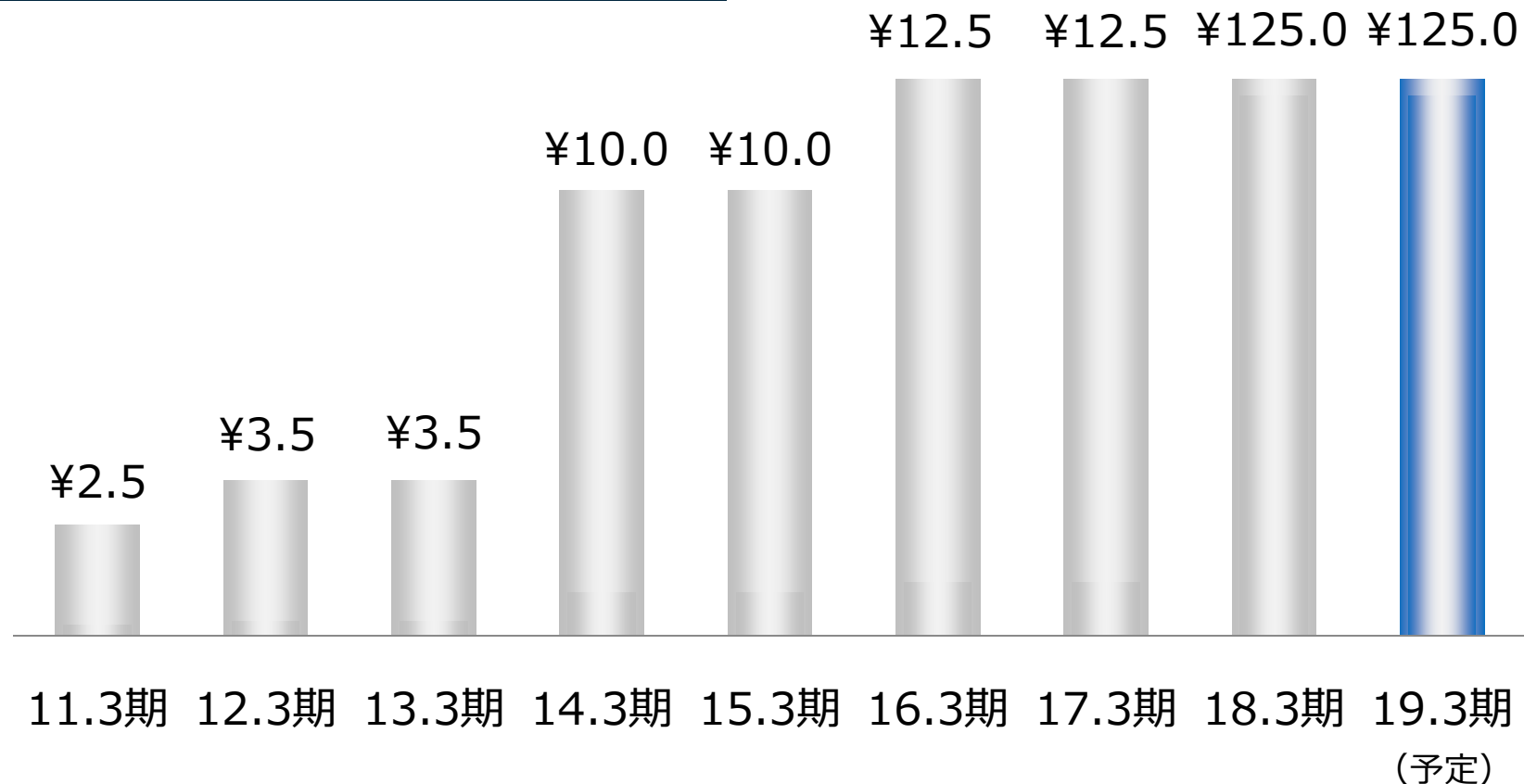
* セグメント間の取引については、相殺消去して記載してあります。

1株当たり配当金予想（年間）

2019年3月期

期末配当金として125円を予定

*当社は、2017年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。



ご清聴ありがとうございました。

本資料に記載した将来に関する見通しは、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。
従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより記載の見通しとは異なる結果となる可能性があります。